

生野中学校区義務教育学校開校に向けた説明会でのご意見・ご質問

令和2年2月4日（火） 生野小学校開催分

1	ご意見・ご質問	疎開道路の地図を見ると、横断する箇所がどの小学校区から来る児童生徒も同じか所になっているが、例えば小さい子が決まった道で帰らないといけない場合、この道はガードレールなどを設置することは考えているのか。
	回答	<p>疎開道路を横断する箇所は、現在の生野中学校の正門前です。通学に関しては、学校との連携にもなりますが、通学指導を行っていきますので基本的にはここを通っていただくようになります。</p> <p>なお、疎開道路においては、西生野小学校区で通行する部分が今の案では一部あります。こちらにガードレールが設置できるか否かは、設置箇所地下に埋設管があり設置不可能等のハード面の問題がありますが、何らかの形で歩道・車道を分離するような柵の設置等を検討しています。</p>
2	ご意見・ご質問	特別支援学級の今の時点での取組、方向性を聞かせてほしい。
	回答	<p>現在、各小学校が特別支援学級在籍児童に対して、大変手厚い対応を行えているという状況を認識しています。</p> <p>今回の再編に伴い、何としても確実に進めるべき部分として、教員の加配を行っていく予定です。通常、学級数に対して教員の定数が決まりますが、現在の予定では、それに各学年1名プラスするような配置を当初行うことで、各特別支援学級在籍児童の様々なニーズに対応していきたいと考えています。</p> <p>令和4年度から開校する義務教育学校においては、一つの教職員集団により9年間で子どもたちを見ていくことで、特別支援学級在籍児童についてもしっかりと対応していきたいと考えます。義務教育学校であるので、小・中学校の教員という隔てなく、一つの教職員集団として、9年間で子どもたちを育てるような学校になります。小学校段階から中学校の教員が小学生を見ることが可能になるので、子ども理解という点でも、一人ひとりの特性を理解して、教職員集団として子どもたちの様々な成長を育んでいくというような学校でもあります。それに向けて、それぞれの学校で進めている内容を教職員で共有することが、これから予定されています。</p> <p>個々に悩みや必要な配慮、苦手な状況等があると考えられますので、ぜひ個別に相談ください。また、区役所も特別支援のサポーターとして、各学校へ教員とは異なるサポーターの配置等も行っていますので、より良い体制について学校と相談させていただきながら、そういった部分でも手厚く進めていこうと考えています。</p>

3	ご意見・ご質問	<p>各校で様々な個性の子どもたちがいると思う。様々な子どもたちにとっての支援を手厚くしていこうと思えば、例えば、生野小学校であれば、転倒防止のための机といすを用意する必要がある等の情報を速やかに各学校から聞いていたうで対応してほしい。</p> <p>そのうえで、通学路の問題として、学校が近いから家を購入された方や、歩行困難な子どもと一緒に通学している保護者の方もいらっしゃる、通学路が遠くなることでも悩まれている。例えば、2人の児童と一緒に学校に連れていくことが歩行では無理という場合に自転車を使うことも可能か等、そういった部分について各学校は状況をよく把握していると思うので、情報をいち早く聞ききながらすぐにでも手を打ってほしい。</p>
	回答	<p>今の実態からしっかりと繋げていくことが重要であり、個別のご要望も含め、学校が今現在すでに実施しているも内容についてもしっかりと対応していきたいと考えます。開校に向け、教職員組織も5校での組織化を進めている状況であり、その一つとして特別支援教育というものを位置付けていますので、しっかりと教職員、各学校長から状況を聴取し、繋げていきたいと考えています。</p>
4	ご意見・ご質問	<p>現在、小学校に在籍する児童と未就学で障がいのある子どもが2人おり、通学をどうしようかと考えており不安である。バスが走るということだったが、車いす1人と子ども2人を乗せられるバスなのか。自分が学校まで一緒に行き、帰りも迎えに行ったほうが良いのか。また、友達と通学したいときに車いすで行けるようにバリアフリー化された道になるのかという点がすごく不安である。</p>
	回答	<p>ご家庭の方はやはり心配かと存じますので、まずは、できるだけ早く学校に相談いただき、そのなかでどのようにしていくのかということをお話を学校が教育委員会と情報共有し、大阪市として可能な限り取り組む方向性です。今日のご意見を皮切りに、学校にもつないでまいりたいですので、心配だと思われた段階で早期にご相談ください。</p> <p>バスについては、未確定な部分がある段階ですので、一つひとつつなげていき安全に安心して学校に通えるような環境を共に考えていきたいと存じます。</p>
5	ご意見・ご質問	<p>新たな学校の正門はどこになるのか。</p>
	回答	<p>現在の生野中学校の正門、および現在の西生野小学校の南門の2か所を児童生徒の登下校の門として開ける予定です。</p>

6	ご意見・ご質問	中学校はすごく手前なのに、小学生の校舎がすごく門から遠く感じる。それは仕方ないのか。
	回答	現在は、中学生の下足室が校舎西側にあります。小学生の下足室は新校舎の南側で、中を通っていくことになります。今の西生野小学校の南から通うお子さんは、生野中学校の南側の一方通行の道路を極力通さないようにということで、現在の木工室を解体するので、現在の西生野小学校南門から入って、木工室がなくなったところとグラウンドに沿って通行し入っていくという形になっていきます。
7	ご意見・ご質問	朝の通学は集団登校になると思うが、学年によって授業時間数の兼ね合いで、どうしても帰宅時は1、2年生の子が先になる可能性がある。通学路では疎開道路を横断することになるが、低学年の子は注意力が散漫になりがちなので危険な場面もある。そこに関しては、その時間帯に先生や地域の方に立っていただくことは可能か。また、天王寺区の天王寺小学校区では地下通路があると思うが、生野中学校区内に、校門前の市営団地のほうなどから地下通路を通すようなことは可能か。何かそのような対策は考えているのか。
	回答	現在、生野小学校は集団登校を行い、あとの3小学校は個別登校となっています。集団登校・個別登校については、今後、学校と調整する必要がありますが、基本的には今の形が踏襲されていく想定です。帰宅時については、例えば、門付近に何らかの有人での対応をする等の検討をしてみたいと考えています。地下通路については、出来かねる状況です。
8	ご意見・ご質問	新しい義務教育学校ができるということで、小学校の間から中学校9年間で一貫のカリキュラムの授業、教育を受けられるということが実現すると、公立学校ですごく良い学校だと思う。 今、小学校に通わせているなかで、児童放課後いきいき事業（以下、「いきいき活動」）にも参加している。いきいき活動は、放課後に参加して宿題が終われば遊ぶ自由な時間ということになっているが、その中身に関しても新しい学校では何らかのカリキュラムや活用など検討はしているのか。
	回答	いきいき活動について、かねてより、いろいろな体験活動等を地域の方がしていただいています。区によっては、例えば、英語の授業を時々組み込んだでいるところもあります。先ほど産官学連携という説明を行いました。色々な企業の方がそれぞれのプログラムを持っていらっしゃる。ぜひいきいき活動の時間に子どもたちの学習や体験を充実したいと考えています。

9	ご意見・ご質問	<p>生野区において、進学の実績であったり学力の面であったり、心配なところもある。特に公立中学校から高校に進学する際に、学力支援は塾に行くのが当たり前という状況になるのであれば、今のカリキュラムをみるともったいないと感じる。6時過ぎまで残っている子も多く、2時間でも3時間でもあるのであれば、いきいき活動をもっと有効に活用をしてもらえるとありがたい。</p>
10	ご意見・ご質問	<p>令和4年開校となると、子どもが小学5年生で通学することになる。中学校の学校選択制に関しては令和4年度新入学生から導入と聞いたが、どこの中学校に通わせるか考える際には、部活動が基準になると思う。部活動の内容等については、決まり次第、事前に説明会等が開かれるのか。</p>
	回答	<p>部活動について、これから検討していきますが、基本的には継続されていくものと考えています。</p> <p>例えば令和4年度に入学される方の学校選択制ということであれば、その前年の8月末頃に部活動の情報を含んだ学校案内という冊子を配布しますので、そちらでご確認いただけます。</p> <p>また、部活動を基準に選択するのも一つですが、一方で義務教育学校は9年間で子どもを育てることで、中学校の教員が児童生徒を小学校段階から知っていることは大きな利点です。学校選択制を前提として中学校から違う学校に行くというよりは、9年間の流れという要素も踏まえていただければと存じます。</p>
11	ご意見・ご質問	<p>9年間で義務教育学校というのはよくわかる。例えば、中学校から私学に行くような場合、卒業式はなく、4-3-2制なので、3年間の教育の途中で行くことになるのか。現在であれば、小学校卒業で区切りが出て、違う中学校へという選択もあるかと思うが、そのような選択を取るにあたり何か不都合は出てくるか。</p>
	回答	<p>義務教育学校は小学校課程を前期課程、中学校課程を後期課程と位置づけています。前期課程を修了した段階で小学校課程修了になり、小学校課程を修了した旨の卒業証書を発行することは可能です。そのため、私学進学や違う学校へ中学校から行く場合も、同じように小学校の卒業証書にあたるものは発行します。また、学習指導要領に則って使う教科書は、大阪市立の公立小中学校に対しては同じ教科書を使用するので、不都合はないと考えています。</p> <p>また、卒業式については検討中ですが、小学校の卒業式という形にはならず、義務教育学校9年間の課程を終えての卒業式といったものになるかと考えています。他の全国各地の義務教育学校を見れば、7年生の段階で一つの式を設けているような事例もありますので、今後の検討になりますが、特色ある学校として、他とは違う位置づけになると考えています。</p>

	ご意見・ご質問	<p>両親の共働きにより、子どもが帰宅する時間に親が自宅にいないことのほうが多い。スクールバス、ガードレールの設置や、先生や地域の方が毎朝立っていることなど、現在も引き続きしていただいていると思うが、正直、今の学校においても不安なところがある。隣の天王寺区の小学校であれば、学校の門を通った時点、他の市町村なら学校の門を出た時点で保護者へメールが届くなど、色々な取組をされている。スクールバスの検討はとても有効的だと思うし、地域の方々にとっても大切なものになり得ると思うが、当面、子どもたちが登下校するにあたり、保護者の安心という面に関して、区役所、教育委員会はどのように考えているか。</p>
12	回答	<p>例えばミマモルメ等、色々なツールがあり、区内でも学校によっては導入しているところがあります。月 300 円程度の保護者負担はあるかもしれませんが、そういったツールもどんどん進化しており、例えば携帯でアクセスすれば、子どもが今どこにいるか確認できたり、交通事故の多いところに近づくと音が鳴ったりするようなものもあります。展示会等にも足を運び、いろいろなツールを模索しています。特に、帰宅時の不安はあると存じますので、いきいき活動から集団で、もと小学校までは児童を連れて帰り、そこで保護者にしっかり受け渡していきたいと考えます。大阪市での前例がありませんので、今後、他区で学校再編がどんどん進んでいくなかで、生野区がモデルを作り、他区の保護者の方も安心していただけるよう、全国的にも他の自治体での優れた事例等も研究して取り入れながら、今後 1、2 年でしっかり準備もしていきたいと考えます。ご不安なことがあればぜひご相談ください。</p>